

令和4年7月22日

## アイ・エス・フーズ徳島株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～「とくぎんSDGsサポート」～

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、SDGsの達成に取り組んでいるお客さまをご支援するため、「とくぎんSDGsサポート」<sup>(注)</sup>を取扱いしております。

この度、本サービスを通じて、アイ・エス・フーズ徳島株式会社（徳島県阿波市、代表取締役：酒井貴弘）がSDGs宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取組みに対する関心は高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出に繋がることから、多くの企業がSDGsへの取組みを推進しています。

当行では、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsへの取組みを支援するとともに、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

### 記

#### 1. 企業概要

企業名	アイ・エス・フーズ徳島株式会社
所在地	徳島県阿波市土成町成当字大場1320番1号
代表者	代表取締役 酒井 貴弘
業種	農業

※SDGs宣言の詳細については別紙をご参照ください。

#### (注)とくぎんSDGsサポートについて

とくぎんSDGsサポートは、チェックシートに回答いただくことで、お客さまのSDGsへの取組み状況を客観的に診断し、当行がお客さま独自の「SDGs宣言」策定をサポートする法人さま向けのサービスです。

以上

(ご参考) 当行のSDGsへの取組状況については、ホームページで公開しております。

(<https://www.tokugin.co.jp/about/region/sdgs.html>)





当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組を行ってまいります。

2022年7月22日  
アイ・エス・フーズ徳島株式会社  
代表取締役 酒井 貴弘

## SDGsの達成に向けた取組

### ◆ 持続可能な消費と生産のパターンを確保

最新植物生理学と独自の最先端栽培技術を融合させた高付加価値な「健康的で体に優しい青ねぎづくり」を推進するとともに、安定の品質・供給をスローガンに掲げ、システム化した生産体制と品質管理を実現してまいります。

#### 【主な取組】

- ・選果施設の新設による、新規受注や安定供給に対応可能な体制整備と出荷体制の強化
- ・水や施肥の自動管理による、安定生産に向けた施設栽培の実現



### ◆ 食材の安定供給、持続可能な農業の推進

安全で高品質な「極上青ねぎ」の提供を実現するために、阿波の豊かな土壌を活かす土づくりや最先端の栽培技術を融合させ、青ねぎの特性を引き出す研究と試験栽培を行ってまいります。

#### 【主な取組】

- ・国際基準規格である「ASIAGAP」を取得
- ・加工業務用、中食、外食産業において高まる国産ねぎの需要に対する安定供給
- ・「最新植物生理学」×「最先端栽培技術」の掛け合わせによる安定供給の実現



### ◆ 持続可能かつ近代的なエネルギーの活用

蓄電池や太陽光発電設備等のクリーンエネルギーを積極的に導入した「農業×再生可能エネルギー」を実践し、持続可能かつ近代的なエネルギーを継続的に活用する事業を構築してまいります。

#### 【主な取組】

- ・新工場屋根部分への太陽光発電設備の設置
- ・農場土地を再生可能エネルギーの土壌として活用し、「自然の保全」と「資産価値」を相乗的に発展させることで、持続可能な事業展開を実践



### ◆ 自治体とのパートナーシップ強化による地域経済の活性化

農園運営の中核となる熱い思いを持った20～30代の若手従業員を積極的に育成し、「人間力」の向上に努めてまいります。また、若年者へ働く場を提供することで地域経済の活性化を目指してまいります。

#### 【主な取組】

- ・県内外から積極的に人材を採用
- ・海外実習生を受入れ、働く場を提供
- ・徳島の地元企業と連携し、新商品の開発を実施
- ・災害時における自治体への協力を通して、地域住民との共存共栄を実現



### SDGsとは

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。「誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です(2015年9月に国連で採択)。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

